

# 繪ハガキ競技會記事

(第三十一回)

歳晚 (意匠)

枯野 (技術)

一等	多忙	鈴木登	冬の郊外	三條千代子
二等	忠臣藏	中壘紋一	龜井戸	森榮一
三等	煤掃ひ	高橋松治	近郊	赤城泰舒
四等	年賀状受附	森榮一	野道	相田寅彦
五等	年とり	相田寅彦	廣野	吉川晴帆
六等	御歳暮	鈴木錠吉	巢鴨村	山田汀
七等	羽子板市	赤城泰舒	川沿	立花甚之助
八等	歳ノ市	吉川晴帆	北海道の冬	小林克巳
九等	年の終り	山田汀	灌ノ川村	牧野露香
十等	ちんもち	野口六三	野路	金江龜
十一等	十二月廿七日	三條千代子	曠野	高橋松治
十二等	懸取り	永井源三郎	郊外	池田昌克
十三等	松賣り	河躰達夫	山里	高橋直子
十四等	煤掃き	小林誠之助	枯野原	宮澤汀煙
十五等	賃餅	牧野露香	山田の朝	小林誠之助
十六等	白と杵	齋藤八十八	枯野の川	永井源三郎
十七等	送六迎七	立花甚之助	野道	齋藤八十八
十八等	義士の模様	宮島文雄	郊外	川島小絹
十九等	懸取り	金江龜	枯野	本多金藏
二十等	カレンダ	島村安三郎	近郊	野口六三

## 近事雜聞

△水彩畫講習所十二月の例會には成績出品五十餘點、一等赤城泰舒氏、二等牧野康強氏、三等志賀正人氏にして、前回の一等當選者松浦氏の出品には佳作多かりし。

△前月は講習所開校一周年に相當せるを以て、廿七日午後より例會新年會を兼ね、其紀念會を催したり。景況は次號に報ずべし。

△太平洋畫會に於ては、一月五日研究所に於て新年會を催ふし、生徒の活人畫其他の餘興ありて盛會なりしといふ。

△太平洋畫會にては、來る四月中研究所に於てスケッチ展覽會を催す筈にて、昨今準備中なりと。

△一月二日より十日迄、長野市に於て洋畫講習會あり。本會の丸山氏主として指導の任に當られ、大下氏も數日間應援として出張したり。こは同市學校職員及新聞社員數氏の發起に成りしものにして、猶八月頃には澁温泉附近にて夏期講習會を催す計畫もありといふ。

△前記講習會を終りて後、十二日長野市城山館にて成績品展覽會を開き、十三日には上田町にて、丸山氏携帶の水彩畫展覽會を開きしが、何れも盛會なりしといふ。

■本會へ宛て年賀狀を寄せられし讀者諸君に謹て御禮申上候